



えびす様は約束を守ってくださった ——私の父(その3)

高橋 司 たかはし・つかさ

弁護士。1963年生まれ。北海道大学大学院法学研究科修了。
「公事宿法律事務所」代表。

これまでの間、ゆっくりと父に手紙を書くこともなかつたが、私は事前にしたためた手紙を入院当日に父に手渡した。これまで育ててくれたことへの感謝の気持ちを素直に伝えた。その後、いまだまん延防止等重点措置が解除されていなかつたことからゆづくりと話しさることもで

令和4年3月15日、父は病院から介護付き老人ホームに移り、好きな時間まで好きなテレビ番組を見て、日々、大好きなチヨコレートを食べ続けていたそうである。父の広い個室の窓からは道路を挟んで正面に繁盛しているそば屋の建物の出入り口が見えた。まだ外から自由に料理などを注文して施設内で食する状況ではなかつたが、父は、施設の方に頼み込み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判読できなかつた。父は最後に私に何を伝えようとしたのだろうか。このメモ用紙はずつと取つておこうと思つ

きず、退院するまでの間、面会は許されなかつた。入院の翌日、父から「不甲斐ない父で申し訳なかつた」と滴を投与され最後の治療を受け続けた。

令和4年3月15日、父は病院から介護付き老人ホームに移り、好きな時間まで好きなテレビ番組を見て、日々、大好きなチヨコレートを食べ続けていたそうである。父の広い個室の窓からは道路を挟んで正面に繁盛しているそば屋の建物の出入り口が見えた。まだ外から自由に料理などを注文して施設内で食する状況ではなかつたが、父は、施設の方に頼み込み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判

読み、私が来る予定となつていた同年4月9日にそば屋から2人分のそばを注文し、部屋で息子と2人でゆづくり食事をしたいとお願いをしていた。しかし、父はその前日の夕方に意識を失い、急遽病院に搬送された。その後、一旦、意識を取り戻したものの翌週の16日午前11時ころに急変し永眠するに至つた。同日、私は急いで自家用車で釧路に向かい、病室にて父の遺体と対面した。ベッドサイドにはメモ書きらしきものがあつたが、何を書いているのかまったく判